

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府営堺新金岡4T5番住宅 AB	階数	地上14F
建設地	大阪府堺市北区新金岡町四丁5番	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	469人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年12月11日
敷地面積	2,527 m ²	作成者	株式会社ジャス
建築面積	829 m ²	確認日	
延床面積	8,055 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 まちなみ景観として、団地として統一感のある沿道景観を形成するデザインを検討し、公園からの景観にも配慮します。また、歩行者空間の形成及び公園のエントランス整備に連携したまちかどを形成します。 既存樹木を保存するとともに、敷地緑化等緑化計画とします。 設備配管は耐用性のあるものを採用するとともに、更新性に配慮した配管ルートを確認し適切に点検口等を設けます。	その他 0	
Q1 室内環境 ・照明は、エントランス及び廊下にデイトライタマー、メルコーナに人感センサーを用いてエネルギーの削減に配慮します。 ・内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応をおこないます。	Q2 サービス性能 ・将来のプラン変更等に対応して、設備配管のスリーブを事前に設けます。 ・設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。	Q3 室外環境(敷地内) ・既存樹木を保存します。 ・外構緑化指数50%以上とします。
LR1 エネルギー ・性能評価: 省エネルギー対策等級3を確保します。 ・住戸は専有部が外皮に2面以上面する配置とし、採光・通風に配慮します。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。	LR3 敷地外環境 ・地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府営堺新金岡4丁5番第1期高層住宅(建て替え)新築工事(第1工区)AB棟	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市北区新金岡町四丁5番	1.2	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 8,055.05 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.0	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.2	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	